## 第6章 各島実施報告

## 第21節 西表島（大富地区）

## 第1項 取り組み概要

前年度と同じく，星空保護区である西表島の特色を活かした星空ツアーと文化体験のモニターツアーを造成した。また，天候不良で星空が見えなかった際の代替えプログラムもあり，非常に安定したモニターツアーとなった。

## 第2項 造成ツアー一覧

1．新月ナイト漆黒の闇体験と幻想的な星空観察•西表 草木染体験 3日間

第3項 実施ツアー一覧
＜参加者合計 11名＞

| ッアー名 | 出発日 | 曜日 | 泊数 | 宿泊形態 | 定員 | 参加者 |
| :--- | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 新月ナイト漆黒の闇体験と幻想的な星空観察•西表 草木染体験 | 11月26日 | 火 | 2泊3日 | 民宿 | 10 | 7 |
| 新月ナイト漆黒の闇体験と幻想的な星空観察•西表 草木染体験 | 12月25日 | 水 | 2泊3日 | 民宿 | 10 | 4 |

## 第6章 各島実施報告

## 第4項 実施ツアー概要

## （1）新月ナイト漆黑の闇体験と幻想的な星空観察•西表 草木染体験

## ■ツアー紹介文

八重山列島で最も大きな島，西表島。観光の拠点となる大原地区にある西表島の老舗旅館にご宿泊。まだまだ手つかず の自然が残る西表島で普段，本島では味わうことの出来ない新月のときにだけ現れる漆黒の闇と満天の星空を専門ガイドの説明とともに体験して頂きます。今回は西表島の植物を使用した草木染にもチャレンジして頂きます。どんな色•柄になるかは出来てからのお楽しみ！

| 日程 | 交通機関 | 現地時間 | スケジュール |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| 1日目 | 飛行機 <br> バス <br> フエリー <br> バス | $\begin{aligned} & 10: 00 \\ & 11: 00 \\ & 12: 05 \\ & 12: 20 \\ & 12: 50 \\ & 14: 40 \\ & 15: 20 \\ & \\ & 18: 30 \\ & 20: 00 \end{aligned}$ | 那覇空港3F JAL団体カウンター集合＊チケットお渡し，事業説明 <br> 飛行機 那覇空港 出発（JTA607） <br> 石垣空港到着 <br> 南ぬ島 石垣港ターミナルヘ <br> 石垣港夕ーミナル 到着～フリータイム（石垣市街地散策やご昼食などおお楽しみください）～ <br> 石垣港出港 <br> 大原港到着 お宿へ移動 チェックイン後，島の紹介・オリエンテーション <br> 西表島大富集落を地元ガイドとのんびり散策 <br> お宿にてご夕食 <br> 【体験】星空観察（新月ナイトツアー）所要時間90分 <br> 【宿泊先】竹盛旅館 |
| 2日目 |  | $\begin{gathered} 7: 30 \\ 9: 00 \\ 12: 00 \\ 18: 30 \end{gathered}$ | お宿にて朝食 <br> 【体験】草木染所要時間約120分 <br> 昼食 昼食後，フリータイム～オプショナルツアーなどでお楽しみください～ <br> 夕食交流会 ※【体験】星空観察（新月ナイトツアー）予備日 <br> 【宿泊先】竹盛旅館 |
| 3日目 | バス <br> フエリー <br> バス <br> 飛行機 | $\begin{gathered} 8: 00 \\ 15: 00 \\ 15: 30 \\ 16: 10 \\ 16: 30 \\ 17: 00 \\ 18: 20 \\ 19: 15 \end{gathered}$ | ```お宿にてご朝食 振り返り会・アンケート記入•~出発までフリータイム・各自己゙昼食~ ホテルから大原港へ移動 大原港出港 石垣港 到着 石垣港夕ーミナルより石垣空港へ移動 石垣空港到着 石垣空港出発 (JTA626) 那覇空港到着 解散``` |

## －成果

「島民のあたたかいおもてなしに感動した，説明も丁寧で分かりやすくとても良かった」との声があり，高い満足度となった。交流会は島民の協力体制ができており，「対応も良く食事も美味しかった，本当に満足」と好評だった。

## ■ 課題

2回ツアーを実施したが，うち1回は天候不良により，星空観察体験が実施不可となった。満足度が高いが天候に左右され るため，実施不可となっても満足度を下げないような代替プログラムの実施を検討していく。また，「フリータイム時のオプショナル体験で何をしたらいいか分からなかったため，旅のしおりなどで案内が欲しい」との意見があった。オプショナルについて，モニターツ アー前や到着後のオリエンテーション時など，事前の案内を行うよう改善する。

## 第5項 アンケート結果

## （1）参加者について

（1）性別

$N=11$
（3）職業

$\mathrm{N}=11$

$\mathrm{N}=9$
（2）年代

$N=11$
（4）同行者

$N=11$
（6）この島への今回を含めた訪問回数

$\mathrm{N}=11$

## （7）住所

| 那覇市 | ， |
| :---: | :---: |
| 宜野湾市 | 0．0\％ |
| 石垣市 | 0．0\％ |
| 浦添市 | 0．0\％ |
| 名護市 | －18．2\％ |
| 糸満市 | 0．0\％ |
| 沖縄市 | 0．0\％ |
| 豊見城市 | 0\％ |
| うるま市 | －18．2\％ |
| 宮古島市 | 0．0\％ |
| 南城市 | － $18.2 \%$ |
| 与那原町 | 0．0\％ |
| 南風原町 | 0．0\％ |
| 久米島町 | 0．0\％ |
| 渡嘉敷村 | 0．0\％ |
| 座間味村 | 0．0\％ |
| 粟国村 | 0．0\％ |
| 渡名喜村 | 0．0\％ |
| 南大東村 | 0．0\％ |
| 北大東村 | 0．0\％ |
| 伊平屋村 | 0．0\％ |
| 伊是名村 | 0．0\％ |
| 八重瀬町 | 0．0\％ |
| 国頭村 | 0．0\％ |
| 大宜味村 | －9．1\％ |
| 東村 | 0．0\％ |
| 今帰仁村 | 0．0\％ |
| 本部町 | 0．0\％ |
| 恩納村 | 0．0\％ |
| 宜野座村 | 0．0\％ |
| 金武町 | 0．0\％ |
| 伊江村 | 0．0\％ |
| 読谷村 | 0．0\％ |
| 嘉手納町 | 0．0\％ |
| 北谷町 | －9．1\％ |
| 北中城村 | 0．0\％ |
| 中城村 | 0．0\％ |
| 西原町 | 0．0\％ |
| 多良間村 | 0．0\％ |
| 竹富町 | 0．0\％ |
| 与那国町 | 0．0\％ |

## （2）参加経緯

（1）ツアーへの参加理由（複数選択）

（2）情報源（複数選択）


## （3）ツアーや宿泊施設，島についての意見

## （1）ツアーの満足度

```
@とても満足 - やや満足 - 普通 - やや不満 - 不満
```






第6章 各島実施報告


## （4）百規料金について

（1）あなたが考える妥当な料金（大人一人あたり）

| 区分 | 金額（円） |
| :--- | ---: |
| 平均値 | 59,650 |
| 最大値 | 105,000 |
| 最小値 | 18,000 |

（2）「妥当な料金／正規料金」の割合（A）の分布
（正規料金 中央眻 86，250 円 ※変動するため参考値）


## 第6章 各島実施報告

## （5）支出について

## 一人当たりの支出金額

| 区分 | 平均支出額 | 最大支出額 | 最小支出額 |
| :--- | ---: | ---: | ---: |
| 合計 | 8,604 | 19,000 | 714 |
| 欴食費 | 4,071 | 17,000 | 500 |
| 娯楽費•入場費 | - | - | - |
| 交通費 | 2,306 | 5,000 | 714 |
| 土産物•買い物等 | 4,000 | 6,000 | 1,000 |
| オプションプログラム | 3,833 | 7,000 | 1,500 |
| その他 | 3,000 | 3,000 | 3,000 |

## 第6項 総括

## ■ 島の声

星空観察体験は，満足度が高いが天候に左右されるため，体験不可となっても満足度を下げないような代替プログラムの実施を検討していく。また，前年度に引き続き島民の協力体制のもと，満足度の高い交流会の実施が可能となった為，おもて なしのレベルの高さを維持していきたい。今年度の商品開発支援にて実施した料理講習では，新規の島民が参加し島あつち いへの認知が広がった為，次年度は島民の更なる巻き込みにも力を入れていきたい。

## 参加者の声

- 島民の心配りに感動した，対応も良く食事も美味しかった為，本当に満足
- 地域の関わりが強く，島民の協力が感じられとても良かった
- 優しく丁寧な指導でとても分かりやすかった
- 星砂の浜に漂着ゴミが多く気になった為，ゴミを拾つて捨てる事の出来る箱があるといいと感じた


## ■総括

今年度はモニターツアーを造成したが最少催行人数の未達，及び悪天候によるツアー中止により，催行数が減少した。催行 したモニターツアーは参加者からの評価が高かった為，今後の自走化を進めていく。来年度はコーディネーターの負担減少と人材育成の観点から，島民を積極的に巻き込みつつ，新しい体験プログラムの造成を行い，自走化を進めていく。

